

副市長に鈴木氏が就任



鈴木 喜治氏
昭和53年大越町役場に奉職し、市長公室長、市民部長、総務部長を歴任。60歳。任期は1日から4年間。

就任あいさつ

市議会6月定例会において、議会の同意を賜り、7月1日付をもちまして副市長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、職責の重大さを認識したところであります。

富塚市長3期目の施政理念であります6つの基本方針に加えられた7つ目の除染、帰還、復興対策は最優先に取り組まなければなら

橋本氏が副市長を退任



副市長の橋本隆憲氏(船引町船引)が4年間の任期満了となる6月30日をもって退任しました。

橋本氏は昭和50年に船引町役場に奉職し、生涯学習課長、保健福祉課長を歴任。町村合併後は企画調整課長、市長公室長を務め、平成21年7月に副市長に就任しました。

卓越した見識と行政手腕によって市政発展に全力を傾ける一方、一昨年3月に発生した東日本大震災と原発事故では、被災者支援や復旧・復興対策に最優先で取り組み、市長の補佐役として指導力を発揮しました。

8月1日付職員人事異動 市民部原子力災害対策課を新設

富塚市政3期目の大きな柱となる「除染・帰還・復興対策」を加速させるため、市民部原子力災害対策課を新設し、除染係と帰還促進係を設置しました。

【部長】
総務部長(市民部長)根本博作▼市民部長(総務部総務課長兼選挙管理委員会事務局長)渡辺清徳

【参事】
参事兼市長公室長兼政策係長(参事兼市長公室長)秋元忠雄

【課長】
総務部総務課長兼選挙管理委員会事務局長(議会事務局総務課長)大内康栄▼市民部生活環境課長(常葉行政局市民課長)吉田功▼市民部原子力災害対策課長兼帰還促進係長(市民部生活環境課長)七海茂▼議会事務局総務課長(市長公室主幹兼室長補佐兼秘書広報係長)宗形常美▼都路行政局産業建設課長兼産業係長(都路行政局産業建設課長)山口栄▼常葉行政局市民課長(常葉行政局市民課主幹兼課長補佐兼市民係長)武田美智子

【課長補佐相当職】
市民部原子力災害対策課主任主査兼除染係長(市民部生活環境課主任主査兼原子力災害対策係長)鎌田洋一▼同主任主査(同主任主査)渡辺庄二▼同主任主査(同主任主査)渡辺一博▼市長公室主任主査兼秘書広報係長(市長公室主任主査兼政策係長)石井孝道▼都路行政局市民課主任主査兼市民係長(都路行政局産業建設課主任主査兼産業係長)坪倉正容▼常葉行政局市民課課長補佐兼市民係長(都路行政局市民課主任主査兼市民係長)浦山孝司

【係長相当職】
市民部原子力災害対策課技査(市民部生活環境課技査)坪井博人▼同主査(同主査)朝田容司▼同技査(同技査)鈴木義孝▼同主査(同主査)渡邊誠

熱中症を正しく理解

熱中症は暑さなどによって、体の中の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温調節ができなくなる病気です。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合があります。そのため、注意が必要です。

重症化すると命にかかわるため、正しい知識と適切な行動を身につけましょう。

こんな人はご注意ください

- ◆高齢者、寝たきりの方
- ◆乳幼児
- ◆寝不足・体調不良の人
- ◆運動不足の人
- ◆肥満の人
- ◆暑さに慣れていない人

こんな環境にご注意を

- ◆気温が高い(25度以上)、または湿度が高い(80%以上)とき
- ◆日差しが強いとき
- ◆風が弱い、風通しが悪いとき

予防のポイント

- ◆暑くなる日は要注意

熱中症に「び」注意を!

暑い夏が到来

今年もまた暑い夏がやってきました。連日テレビや新聞で報道されているように「熱中症」になる人が増えています。年齢や性別を問わず、誰でもかかる危険性があり、特に高齢者や小さな子どもがいる家庭は注意が必要です。屋外だけでなく、室内でも熱中症になる場合があります。熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症を正しく理解し予防しましょう。

熱中症の分類と対処方法

	症状	対処方法
I度	・めまい ・立ちくらみ ・筋肉のこむら返り ・大量の汗	◇水分・塩分を補給する ◇涼しい場所へ移動する ◇安静にする ◇衣服をゆるめる ◇脇の下や首まわり、足の付け根を冷やす
II度	・頭ががらがんする ・吐き気 ・体がだるい ・体に力が入らない ・集中力や判断力が低下する	◇I度と同様の対応 ◇自力で水分摂取できないときはすぐに病院に行く
III度	・呼びかけに対し返事がおかしい ・体がひきつける(けいれん) ・まっすぐ歩けない ・走れない	◇すぐ救急車を呼ぶ ◇涼しい場所に移し、横にする ◇服を脱がせ、水や氷などで急いで体を冷やす ◇意識がしっかりしていれば水分を補給させる ◇呼びかけに対して反応がおかしい、意識がないなどの場合は水を飲ませない

ワンポイントアドバイス

アルコール飲料は、飲んでも水分補給にならないんです。なぜなら、アルコールには利尿作用があって、特にカリウムが多いビールは他のお酒に比べて、多くの水分を体の外に出してしまふからです。

睡眠不足や疲労も熱中症の原因になります。生活習慣を見直してみよう!



保健技師 松本美穂さん

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることで発症します。暑くなりすぎた室内なら、エアコンの効いた室内など、早めに涼しいところに避難しましょう。

◆水分をこまめに補給
のどが渇く前に水分を補給しましょう。汗には塩分が含まれています。大量の汗をかいたら、水分とともに塩分もとります。

◆休息をとります
疲れを感じたら、無理せず涼しい場所で休息をとります。寝不足は熱中症にかかりやすくなります。ぐっすり眠れるよう寝具や環境を工夫しましょう。

◆栄養バランスに注意
バランスのよい食事を心掛け、朝ごはんをしっかり食べて体力をつけましょう。

◆周りの人にも気配りを
自分のことだけでなく、家族や隣近所、職場で「水分とってる?」「少し休んだら?」などと声をかけ合いましょう。

問い合わせ

保健福祉部 保健課

81・2271